



イタリア精神保健改革の最初の 20 年を描いた素敵なイタリア映画です。題名は C'era una volta la città dei matti。邦題「むかし Matto の町があった」。イタリア語の matto は狂気をもつ人だそうです。「Matto の町」は精神病院を意味します。今回は、弘前での上映の機会を得ました。精神保健に興味関心のある方は、是非この機会にご覧下さい。

監督：マルコ・トゥルコ

# むかしMattoの町があった

制作：クラウディア・モーリ



日 時：平成 28 年 10 月 29 日(土)

13:00～14:36 第一部上映 (96 分)

14:50～16:32 第二部上映 (102 分)

場 所：弘前大学医学部保健学科第 63 講義室  
弘前市本町 66-1

料 金：1,000 円 (資料代)

定 員：150 人 (事前申し込み先着順)

申し込み方法：氏名，所属，連絡先を記入の上，下記のメールか Fax でお申し込み下さい。

受付が完了いたしましたらその旨を返信いたします。

弘前大学大学院保健学研究科精神障害リハビリテーション研究会

メール：hirosaki\_matto@yahoo.co.jp (QR コード→)

Fax：0172-39-5991



主 催：弘前大学大学院保健学研究科精神障害リハビリテーション研究会  
バザーリア映画を自主上映する 180 人の Matto の会

後 援：イタリア大使館，弘前大学大学院保健学研究科，青森県作業療法士会

協 力：RAI フィクション，フランカ&フランコ・バザーリア記念財団，トリエステ精神保健局